

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ピノキオ幼稚舎高円寺南保育園
法人名	株式会社ピノーコーポレーション
法人所在地	杉並区高円寺南4-26-16ピクトリアプラザ高円寺3階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食べ物

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

普段から南瓜の生育を行ったりポップコーンはどこで出来ているのかなど、食に対しての興味・関心があった。

秋にはさつま芋掘り体験も控えていたことと、「食は」ヒトの三大欲求の1つであり、「食」を実際に【触ること】を通して大切さや探求心をより深めていきたいと感じ、食に関する事をテーマとした。

2. 活動スケジュール

月1～2回活動日を設定し行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・興味が深まるよう子ども達と一緒に買い物に行ったり、芋掘り体験を行なった。
- ・野菜、野菜の種、ルーペ、図鑑や絵本、食材変身カード、食材写真を用意した。
- ・食材、原材料に触れながら体験（うどん作り体験、小麦粉粘土）
- ・調理員にも協力してもらいクッキング。（ピザ作り、パン作り）
- ・縦割りのグループ活動。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・野菜の断面、どんな匂いをしているのか、実際に野菜を使って感じた。

・普段食べている野菜はどのようにして手に届くのか調べた。また、さつま芋掘り体験をした上で、改めて土に植えるところから手に届くまでを考えた。

その後、野菜の最初の姿である種についての探究した。

どの野菜がどの種なのかクイズを行った。また、野菜の種だけでなく、食品の原材料は何かについても考え、小麦粉からできるものに興味をもった為、うどん作り体験を行なった。

その後も小麦粉からできる料理や種類を知り、クッキングを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・感触、匂い、見た目、何かに似ている等その時に感じたことを保育者や友達に伝えていた。実際に体験できることを楽しみにする様子がみられた。
- ・小麦粉の活動：薄力粉、中力粉、強力粉の違いの活動の時は「もちもちしてる」「パンの匂いがする」と言っていた。
- ・クラッカー・ピザ作り：自分達が作ったクラッカーを食べた時、「かたかった」「あじがしない」と言っていた。ピザは「いつものピザとちがってパリパリしていた」と話していた。
- ・おやつに、にら煎餅が出た時は「なにここでできているの？」と調理室へ確認している姿も見られた。

クラッカーブル久



ピザづくり



野菜の種



小麦粉粘土



食品の材料について



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・最初に設定したテーマから、子ども達の興味・関心がそれてしまうことがあった。
- ・普段の活動でも（給食時等）「これは何から出来ているのだろう」と考える機会が増えた。
- ・他クラスの児の姿に興味を示し、異年齢児の関心が深まっていった。
- ・給食自体にも関心が高まった。
- ・小麦粉（強力粉、薄力粉、中力粉）から作られる物に興味を示し一つの原材料でこれだけ話が広がるのかを感じた。
- ・進めていく上でより興味、関心が向くにはどうしたら良いのかを考えながら取り組み、実際に触れたり体験したりする活動に移行していく事で夢中になって取り組む姿がより多くなった。
- ・様々な種類の小麦粉を触り比べている際に、固さの違いに気付き、触れる事で共感出来寄り添えた。
- ・縦割りの活動で内容によっては3歳児が難しそうだったが、クイズやカードを活用すると興味、関心はあったが、実際に体験をして感じる事で食材をより知るきっかけになっていた。
- ・この活動を通して、今後は栽培活動を取り入れ、生長の観察や育てる大変さ、食べ物の有難さを知れたらいいなと思う。
- ・引き続きクッキング、食育活動を通して子ども達がワクワクしたり、楽しさを感じられる経験を積ませて上げたい。